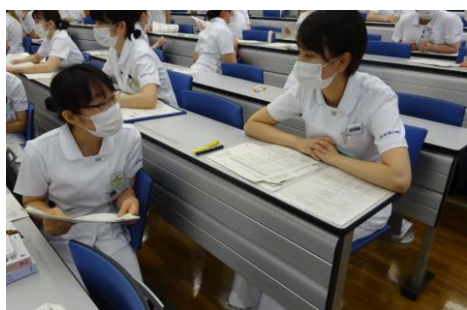


新卒者看護過程研修 ～個別性のある看護を実践しよう～

7月6日、新卒者68名が看護過程研修を受講しました。講義では、アセスメントデータベースの枠組み、全人的視点、看護問題と看護診断、患者目標と看護介入の関係を学びました。グループワークでは、事例を用いて、データ解釈、情報の整理・統合、診断候補の選択を行い、看護診断後、患者目標、看護介入をまとめて、学習を深めました。研修後は、今後、プライマリーナースとして患者と関わるときの課題を明確化できていました。本研修は旭川医科大学の「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針（BCP）」に基づき、研修場所の収容人数、こまめな換気等の感染予防を徹底して開催されました。



講義では、
患者の強み・気が
かり・困りごとに
着目し、個別性を
考慮した看護を展
開する必要性を
学びました。



インタビュー演習では、看護師役、患者役、観察者を体験しました。
効果的な話の聞き方や質問の仕方に難しさを感じていましたが、
演習後、お互いにフィードバックをしながら、
コミュニケーションするうえでの基本的姿勢と態度を学びました。



臨床推論モデルを使用
して、看護診断の
確定、看護目標や看
護介入を論理的に考
えていました。
研修者同士でディス
カッションを行うこ
とで、学習を深めて
いました。

8月11日から看護過程サポートを開始します。インタビューの同席、アセスメントから看護計画立案、評価までのサポートを行います。新人教育に関して、ご意見やご要望等がありましたら、お気軽にご連絡ください。